

« 今日の主なニュース »

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆12月手取り、実質0.3%程度のプラス QUICK調査

・金融情報サービスのQUICKは働く人の可処分所得(手取り)について、2025年12月は前年同月比2.41%増だったと発表。前月の1.84%増から伸びが拡大。物価変動を加味した実質では0.3%程度増えた。11月の手取りは実質で1.1%ほどマイナスだった。12月は賃上げと物価上昇の鈍化が重なり、実質値は24年8月以来のプラスになった。

◆終身保険「108歳超え」の契約に備え 大手生保、保険料の停止検討

・大手生命保険会社が契約者の長寿化に備えて終身保険の改定を検討する。一部の終身保険は、契約者の年齢が商品設計の上限とする108歳を超えるようなケースを現時点では想定していないため。「人生100年時代」の到来を前に、商品を見直す象徴的な事例となる。

◆銀行の日本株売り、23年4ヶ月ぶり高水準 含み損債券と同時売却

・銀行による日本株の売りが急拡大した。1月第4週(26~30日)の売越額は1131億円と2002年9月第2週(1155億円)以来、23年4ヶ月ぶりの高水準となった。国内の金利急上昇をうけ膨らんだ債券の含み損を確定しつつ、埋め合わせるために日本株の利益を確定する動きが広がった。

« 業界ニュース »

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆タニタハウジングウェア、「屋根のある建築作品コンテスト」授賞式

・タニタハウジングウェアは、「屋根のある建築作品コンテスト2025」の授賞式を日本大学芸術学部にて開催。建築家・伊礼智さんらの審査を経て、40作品が選出された。同大学デザイン学科と産学連携のもと、学生がコンテストのアイコンや贈呈品を制作。「屋根から建築を変える」という理念を学生が解釈し、デザインに反映させた。

◆ヤマダHD、白物家電不調で4年連続減益 4~12月の純利益13%減

・ヤマダホールディングス(HD)が発表した2025年4~12月期の連結決算は、純利益が前年同期比13%減の222億円だった。この期間としては4年連続で最終減益となった。冷蔵庫など単価の高い白物家電の販売が振るわなかつた。住建事業の一部で建築基準法などの改正に伴う住宅の着工、完工の遅れがあった。

◆パナソニックHD、人員削減1万2000人に拡大 純利益の通期予想下落

・パナソニックホールディングス(HD)は2026年3月期の連結純利益(国際会計基準)が前期比34%減の2400億円になりそうだと発表。従来予想を200億円下回る。国内外で進めている人員削減の規模が想定より2000人多い1万2000人になる見通しで、構造改革費用が300億円増加することが響く。

« 注目商品 »

■HiKOKI ガスなしで効率的に打ち込めるコードレスコンクリート釘打機

・ガスなしでパワフルな釘打ちが可能な「コードレスコンクリート釘打機 NC1840DA」を発売。同社初の「エアスプリング方式」を採用。ガスカートリッジの交換が不要で屋内でも快適に使用でき、コンクリート下地だけでなくH形鋼などの鋼材下地への直接打ち込みにも対応。



■アキレス、猛暑対策に使える高遮熱×透明フィルム

・猛暑対策製品の新ブランド「アキレス ソーラークリア」から、窓に貼ったり、間仕切りとして使って遮熱する透明軟質塩化ビニルフィルムを発売。「アキレス ソーラークリアW」(窓貼り用)と「アキレス ソーラークリアS」(間仕切り用)をラインアップ。



■アイカ、浴室・水廻り用化粧板に新柄追加

・浴室・水廻り用化粧板「バスフィットパネル」に新柄4点を追加発売。軽量で、カッターで簡単に切断できる浴室・水廻り用の壁面パネル。簡易改修が可能なため、特にホテルの改修現場で利用されている。今回新たに新柄4種類が加わり計43点の品揃えとなった。

